

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和06年06月07日(金)

事務事業		二十歳を祝う会開催事業		担当課	こども青少年課	担当係	こども青少年政策係	管理番号	30143	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	健やかに成長できるまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市二十歳を祝う会開催要項					
	小項目	3	青少年の健全育成の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		二十歳を祝う会は成人の日の前日である日曜日の午後から、深谷市総合体育館を会場として開催している。市内対象者の中から二十歳を祝う会実行委員を委嘱し、実行委員会を組織している。式辞や二十歳代表の言葉からなる式典の部と、実行委員会が企画する歓談の部の2部構成で実施している。								
目的 ※何のために		20歳という人生の節目に、改めて責任ある大人としての自覚を促し、変化の激しい時代を主体的に生き抜こうとする新成人を祝い励ますことを目的とする。								
対象 ※誰・何を対象に		平成15年4月2日から平成16年4月1日に生まれた方のうち、市に住所を有する方及び市を転出された方で出席を希望される方。								
手段 ※どのように		二十歳になる者で構成される実行委員会が式の企画・準備・運営を行う。当日は、式典の司会進行や二十歳代表の決意表明、実行委員会が企画・準備したアトラクションを行っている。								
成果 ※何を求めるか		式を通して、成人としての責任や自覚を養うこと。また、選挙やボランティア活動などへの社会参加の意識が芽生えることを求める。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	1	社会教育総務費	二十歳を祝う会開催事業	3,633,522
本事業の 主な業務		・周知PR					・			
		・実行委員の募集					・			
		・実行委員会の運営					・			
		・二十歳を祝う会式典の実施					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		実行委員会の運営	実行委員会の運営	実行委員会の運営	実行委員会の運営		
事業費	予算(現額)	4,193,000	4,194,000	4,339,000	4,350,000		
	決算額	3,427,942	3,633,522	0	0		
	財源内訳						
	国支出金	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	他特定財源	0	0	0	0		
	一般財源	3,427,942	3,633,522	4,339,000	4,350,000		
人件費	従事職員数(人)	0.65	0.52	0.78	0.78		
	人件費相当試算※	5,115,213.00	4,165,286.00	6,521,502.00	6,521,502.00		
総事業費試算		8,543,155	7,798,808	10,860,502	10,871,502		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	二十歳を祝う会対象者数	目標値	人						
		実績値		1,369.00	1,389.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		毎年人口の増減が有るため目標値の設定は行わない。						
	実績値の算出式								
活動指標 2	実行委員数	目標値	人	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
		実績値		8.00	16.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成29年度の成果を基準に設定						
	実績値の算出式								
活動指標 3	実行委員会開催数	目標値	回	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		実績値		5.00	5.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成29年度の成果を基準に設定 / 会議を実施した回数						
	実績値の算出式								
成果指標 1	二十歳を祝う会参加率	目標値	%	79.30	79.30	79.30	79.30	79.30	79.30
		実績値		79.60	77.20				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成25年度から29年度までの平均参加率を基準とし設定した。 / 参加者／対象者						
	実績値の算出式								
成果指標 2	成人としての自覚を持った人の割合	目標値	%	54.80	54.80	54.80	54.80	54.80	54.80
		実績値		83.80	81.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成29年度の成果を基準に設定 / 意識の高まった等の数／回答者数						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	二十歳を祝う会の開催にあたり、対象者すべてに案内状を送付し、周知を図ることができた。また、実行委員会を開催し、式の企画、準備や当日の運営など、実行委員会としての活動は十分果たせていた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	参加率は前年を下回ったが、例年と同等の水準を維持することができた。8割を超える割合が成人としての自覚が高まったと回答しており改めて大人としての自覚を促す機会とすることができた。
			評価者 こども青少年政策係長 飯村 啓史

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	実行委員募集案内及び案内状の作成を民間委託し、事務の効率化を図ることができた。また、実行委員の応募や市外在住者の参加申込に電子申請を導入したことにより、利便性の向上を図ることができた。
			評価者 こども青少年政策係長 飯村 啓史

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	案内看板など使用する備品、消耗品の再利用し、経費の削減を図る。
達成状況及び その効果	毎年作成していた案内看板などの備品、消耗品の再利用し、経費の削減を図ることができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	二十歳を祝う会開催事業	担当課	こども青少年課	担当係	こども青少年政策係	管理番号	30143
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>式典は全体的に落ち着いた雰囲気で行えた。社会的に広く認知された式典行事であり、式典そのものは、現状のまま継続するべきと考える。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		評価者	こども青少年課長 美野田 芳二				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

